

平成 25 年度 市政経営の概要 《施策と予算》

新たな基本構想・基本計画の初年度としての各種施策の取組

市民の安全・安心の確保と市民生活支援の取組, 重点プロジェクトの視点



平成25年度市政経営の概要《施策・予算》Contents

ページ



I 市政の経営方針等	1
1 平成25年度における市政の経営方針について	1
2 平成25年度予算編成方針について	1
II 市政経営の重点	2
1 4つの重点プロジェクト	2
(1) 強いまちをつくるプロジェクト	2
(2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト	4
(3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト	6
(4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト	8
2 市政経営の2つの基本的な考え方	9
(1) 参加と協働のまちづくり ～人と人がつながる市民が主役のまち～	9
(2) 持続可能な市政経営 ～質の高い行政サービスの提供～	9
3 平成25年度予算(案)のその他の主な新規・拡充事業	13
4 市民生活支援等の継続的取組	13
5 計画的な公共建築物の改修・維持保全等	14
III 予算(案)の概要	17
1 市政経営を取り巻く状況	17
2 平成25年度市政の経営方針を踏まえた予算編成過程	18
3 財政フレーム	20
4 予算規模	22
IV 一般会計の状況	24
1 歳入歳出予算の状況	24
2 歳入予算の状況	26
(1) 市税	28
(2) 譲与税・交付金	31
(3) 市債	32
(4) 基金	34
(5) 使用料・手数料	36
(6) 国・都支出金	37
3 歳出予算の状況	38
(1) 目的別予算の状況	38
(2) 市民一人当たりの各目的別予算額	40
(3) 性質別予算の状況	41
(4) 主な予算科目等の状況	42
ア 民生費	42
参考 社会保障関係経費の推移	43
イ 土木費	45
ウ 教育費	46
エ 公債費	48
オ 繰出金(特別会計分)	49
カ 職員人件費	50
(5) 投資的経費	51
V 主要事業概要	53
VI 財政規律ガイドラインから見た 平成25年度見込みと今後の取組	94
VII 特別会計の状況	107
☑ 資料編	121
1 市政の経営方針等	122
2 平成25年度予算編成過程等	133
3 平成25年度会計別予算の状況	139
4 データ集(経年比較等データ)	151
5 財政用語の解説	169
予算(決算)の主な用語の解説	169
代表的な財政用語の解説	176
地方財政健全化法	185

強いまちをつくるプロジェクト

「地域の防災力を高める」

- ◆防災市民組織の育成
- ◆調布市災害時要援護者避難支援プランの推進
- ◆防災備蓄品の確保・充実
- ◆災害情報システムの維持管理・充実
- ◆緊急時の水の確保(地下水ろ過システム設置)
- ◆消防水利の整備・維持管理
- ◆消防団の対応能力の向上(消防ポンプ車の更新など)
- ◆命の教育活動の推進(調布市防災教育の日)

「強い都市基盤をつくる」

- ◆特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業
- ◆橋りょうの耐震改修
- ◆下水道施設の地震対策の推進
- ◆住宅の耐震化の促進



安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

「高齢者の暮らしを支える」

- ◆地域包括支援センターの充実(平成24年度から10か所体制)
- ◆介護予防事業の充実
- ◆地域密着型サービスの整備(複合型サービス1か所・認知症デイサービス1か所)

「障害者の暮らしを支える」

- ◆発達障害者支援体制整備推進事業
- ◆重度知的障害者施設への助成

「子どもたちの健やかな成長を支える」

- ◆待機児童対策の推進
- ◆学童クラブの運営
- ◆特別支援教育の推進
- ◆小・中学校施設の整備



利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

「21世紀の調布のまちの骨格をつくる」

- ◆駅前広場の整備(調布・布田・国領)
- ◆鉄道敷地の整備
- ◆都市計画道路の整備
- ◆市街地再開発事業の促進
- ◆土地区画整理事業の推進
- ◆自転車等駐車場の整備・有料化



「まちの活力を高める」

- ◆商店街活性化の推進
- ◆民間ノウハウを活用した中小企業等の支援
- ◆「映画のまち調布」の推進
- ◆スポーツ祭東京2013の開催



うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

「豊かな水と緑を大切に守り生かす」

- ◆公園・緑地等の保全・整備
- ◆深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用

「良好な景観を創出する」

- ◆景観計画の策定、景観条例の制定・運用
- ◆深大寺地区におけるまちづくりの推進



本説明資料について

本概要は、平成25年度施策・予算(案)の内容を編集・整理し、できるだけ見やすく、わかりやすくを基本に作成しています。

◇原則的に各表の数値は、各項目の百万円、表示単位未満四捨五入を基本としています。

◇過去の推移は、原則的に当初予算額で表示しています。ただし、市債・基金は残高表示するため決算額を基本に、平成24年度は見込額で表示しています。

◇主要事業や重点プロジェクトの事業費は、各施策の活り方によって、事業費の差異がある場合があります。

I 市政の経営方針等

平成 25 年度は、調布のまちが大きな変革期にある中、新たな第一歩を踏み出す重要な年です。昨年 8 月には京王線の地下化が実現し、今年 4 月からは新ごみ処理施設「クリーンプラザふじみ」が本稼働します。さらに秋には、調布市をメイン会場とするスポーツ祭東京 2013 の開催を迎えます。

この大きな節目の年に、新たな総合計画がスタートします。計画期間である今後 10 年は、21 世紀の調布のまちの骨格が定まる大きな変革期であり、この都市構造の大変貌を、まち全体の活力と市民生活の質の向上につなげていく必要があります。また、参加と協働によるまちづくりをより一層推進し、まちの将来像に掲げた「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現に取り組んでいきます。

市政経営を取り巻く環境は一層厳しさを増していくことが予想されますが、市政の第一の責務として市民の安全・安心を守り、市民生活を支援するとともに、中長期的な展望のもと財政規律の維持を図りながら、新たな計画に基づくまちづくりを着実に進めていきます。

1 平成 25 年度における市政の経営方針について

(平成 24 年 10 月 12 日付け市長通達)

<平成 25 年度経営方針骨子>

- (1) 新たな総合計画の推進
 - ア 基本計画の推進
 - イ 重点プロジェクトの視点
- (2) 市政経営の基本的な考え方に基づく施策の推進
 - ア 参加と協働のまちづくり
 - イ 持続可能な市政経営
- (3) スポーツ祭東京 2013 の最大限の活用
市民、事業者、関係団体等との連携・協力、市民のボランティア活動の継続やスポーツを通じた健康づくり、アスリートの育成
調布市の魅力を全国に発信

2 平成 25 年度予算編成方針について

(平成 24 年 10 月 12 日付け行政経営部長通知)

<平成 25 年度予算編成における基本姿勢>

- (1) 新たな基本計画・行革プラン、財政フレームの策定と併行した複数年次を見据えた予算編成への取組
- (2) 厳しい財政状況の中にあっても、市政の第一の責務としての市民の安全・安心の確保と市民生活支援への取組
- (3) 大幅な財源不足に対処するため、「選択と集中」の視点から、既存事業の優先度や内容、規模、効果を厳しく精査するとともに、あらゆる角度からの財源確保への取組

Ⅱ 市政経営の重点

1 4つの重点プロジェクト

*事業費は原則として100万円未満を四捨五入しています。



新たな基本計画の分野別計画の中で、選択と集中の観点から優先的に取り組むべき主要事業について、重点プロジェクトとして位置付けます。「強いまち」、「安心して住み続けられるまち」、「利便性が高く快適で豊かなまち」、「うるおいのあるまち」の4つの視点により施策横断的に重点プロジェクト事業を位置付け、推進します。

(1) 強いまちをつくるプロジェクト

～プロジェクトの狙い～

- 自助・共助・公助の基本的な考え方のもと、地域や関係機関等との協働により、地域の防災力を高めます。
- 市民の安全を守り、安心して暮らすことのできる災害に強い都市基盤をつくります。

◆ 地域の防災力を高める

【平成25年度の主な取組】

◇ 防災市民組織の育成 <総務部> ※拡充

300万円

防災に関する各種講演会や出前講座などの実施や防災備蓄品の提供などによる支援を行い、地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を図ります。

◇ 調布市災害時要援護者避難支援プランの推進 <福祉健康部>

100万円

「調布市災害時要援護者避難支援プラン」について、広く周知を行い、自治会・地区協議会など地域で活動する組織による高齢者や障害者などの要援護者の支援の輪を広げ、災害時に自助・共助・公助がそれぞれの役割を發揮できるよう取り組みます。

◇ 防災備蓄品の確保・充実 <総務部> ※拡充

6,500万円

東京都の被害想定の見直しを踏まえ、防災備蓄品の食料や生活用品の備蓄数量を見直すとともに、LED照明器具や女性用衛生用品など東日本大震災を教訓とした防災備蓄品の確保・充実を行います。

また、平成25年度から小学校に2基目となる防災備蓄コンテナの配備を進め、市内都立高校においても防災備蓄コンテナの整備を順次行います。

◇ 災害情報システムの維持管理・充実 <総務部>

2,900万円

地震や風水害などの防災情報を提供する市民向けメールシステムや、防災フリーダイヤルの運用を行い、災害時の情報提供・通信システムの確保に努めます。また、MCA無線の維持管理も継続的に行っていくなど、災害時の情報提供・通信システムの確保に努めます。

◇ 緊急時の水の確保 <総務部> ※新規

500万円

災害発生時における市の対応拠点である文化会館たづくり、地下水ろ過システムを導入し災害発生時の飲料水や生活用水を確保します。また、引き続き防災井戸や流水式タンクの適切な維持管理を行い、緊急時の水の確保を図ります。

◇ **消防水利の整備・維持管理** <総務部> ※拡充 **9,100万円**

災害時に迅速な消火活動が展開できるよう、消火栓が使用できない場合に備え防火貯水槽を新設し、消火能力の向上を図ります。また、消火栓の新設・維持管理を行います。

◇ **消防団の対応能力の向上** <総務部> ※拡充 **2,800万円**

消防ポンプ車の更新や消防団の装備の充実など、消防団の円滑な運営と対応能力の向上に努めます。また、火災・災害時における対応能力を向上するため、災害現場で使用できる無線機の整備を行います。

◇ **命の教育活動の推進（「調布市防災教育の日」）** <教育部> ※拡充 **400万円**

「調布市防災教育の日」における命の尊さや大切さを考える授業や、防災に係る地域対象の講座を実施するほか、児童・生徒及び教員に対する救命講習を行います。また、平成25年度から、新たに教員に対する応急手当普及員講習を実施するなど、命を大切にする教育活動を実施します。

◇平成25年度「調布市防災教育の日」 平成25年4月27日（土）

◆ **強い都市基盤をつくる**

【平成25年度の主な取組】

◇ **特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業** <都市整備部> ※拡充 **5億6,400万円**

震災時の復旧・復興の大動脈となる特定緊急輸送道路が建物の倒壊により閉塞しないよう、耐震診断、補強設計、耐震改修、建替え及び除却に要する費用の一部補助により、沿道建築物の耐震化の促進を図ります。

◇ **橋りょうの耐震改修** <都市整備部> **2,000万円**

災害時の救急・救助や資機材等の物流経路を確保するため、橋りょう長寿命化計画に基づき計画的な耐震改修工事を進めます。また、橋りょうの安全な維持管理のため、橋りょう台帳を整備するとともに、補修工事を行います。

◇平成25年度耐震改修工事：宮はげ下橋・無名2号橋（府中用水）

◇平成25年度維持補修工事：長瀬橋ほか8橋

◇ **下水道施設の地震対策の推進** <環境部> **1億800万円**

調布市下水道総合計画及び調布市下水道地震対策総合計画に基づき、災害対応の拠点となる救急病院・避難所等からの排水を受ける管路について、地震により損傷しやすい下水道管とマンホールの接続部分を可とう化することにより、管路の耐震化を進めます（マンホール38か所、路線延長1360m）。

また、平成25年度は、調布市下水道地震対策総合計画の更新（改定）を行います。

◇ **住宅の耐震化の促進** <都市整備部> **900万円**

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された木造住宅の所有者及び分譲マンションの管理組合等に対して、耐震化に係る費用の一部を助成し、災害に強い住環境づくりに取り組みます。

(2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト



～プロジェクトの狙い～

- 高齢者や障害者の暮らしを支え、だれもが安心して住み続けられるまちづくりを進めます。
- 次代を担う子どもたちのために、安心して子どもを産み育てられ、子どもが夢を持って健やかに育つ環境づくりを進めます。

◆ 高齢者の暮らしを支える

【平成25年度の主な取組】

◇ 地域包括支援センターの充実 <福祉健康部> **2億5,500万円**

市内10か所にある地域包括支援センターにおいて、高齢者の包括的・継続的なケアマネジメント支援、地域包括支援センター広報協力員の活動支援、地域ケア体制の構築に取り組み、その多様なネットワークを活用して、介護予防ケアマネジメント、総合相談・権利擁護等の個別支援を行います。

◇ 介護予防事業の充実 <福祉健康部> ※拡充 **4,100万円**

生活上の支援や介護を要する状態になるおそれのある高齢者に対し、認知症や寝たきりにならずに、自立した生活が送れるよう援助し、要支援状態への進行を防止するため、運動機能や栄養改善、口腔ケア等に有効な各種介護保険事業を行います。

高齢化等の進行に伴い、認知症の人の増加が予測されることから、平成25年度からは、新たに認知症予防事業を実施します。

◇ 地域密着型サービスの整備 <福祉健康部> ※拡充 **2,000万円**

認知症や介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援する「地域密着型サービス」を、市内4地域（東部、西部、南部、北部）のバランスに配慮しながら整備を促進します。

平成25年度は、認知症デイサービスを1か所と医療ニーズの高い方のための新たなサービスである複合型サービスを1か所誘致します。

◆ 障害者の暮らしを支える

【平成25年度の主な取組】

◇ 発達障害者支援体制整備推進事業 <福祉健康部> ※新規 **1,000万円**

発達障害者が地域で自立した生活を営むことができるよう、平成25年度から新たにこころの健康支援センターに相談窓口を設置し、家族等に対する相談及び助言を行うとともに、社会生活のための訓練や生活支援、就労準備支援を実施します。

◇ 重度知的障害者施設への助成 <福祉健康部> ※拡充 **2億4,900万円**

民間では受入れが困難な重度知的障害者の日中活動の場である「希望の家」の改修工事を行います。

また、平成25年度からは、重度知的障害者の受入れの拡大を図り、深大寺北町に開設予定の「希望の家深大寺」（平成25年9月開設予定）の開設及び運営支援を行います。

◆ 子どもたちの健やかな成長を支える

【平成25年度の主な取組】

◇ 待機児童対策の推進 <子ども生活部> ※拡充 **3億2,800万円**

保育園等の受入枠を拡大し待機児童の解消を図るため、平成25年度は、4月に4園の認可保育園が開設し、2園の既存園で定員を拡大します。また、7月に1園の認可保育園が開設します。そのほか、認証保育所1か所の開設準備と、既存の認可保育園1園の増築及び1園の定員拡大を支援します。

◇認可保育園（平成24年度） 34園（定員3,029人）
（公立12園1,175人／私立22園1,854人）
※多摩川保育園（狛江市）を除く。

平成25年4月新規開設予定	認可保育園	4園<定員 計301人>
	グループ型保育所	2箇所<定員 計28人>
既存園の定員変更	認可保育園	2園<定員 20人増>
7月新規開設予定	認可保育園	1園<定員 計120人>
		※事業費は2か年分を計上
開設準備	認証保育所	1か所<定員 54人>
既存園の増築	認可保育園	1園<定員 26人増>
既存園の定員変更	認可保育園	1園<定員 19人増>

◇ 学童クラブの運営 <子ども生活部> ※拡充 **4億1,100万円**

保護者が仕事等により夕方まで家庭にいない小学校1年生から3年生までの児童を対象に、放課後の遊び場や生活の場を提供し、子どもたちの健全な育成を図る学童クラブ事業を実施します。平成25年度は、染地小学校内学童クラブ分室の設計を行います。

学童クラブの育成時間について、3季休業中の朝の受入時間を早めます。（平成25年度から8:30→8:15）

在籍障害児については5年生まで受入学年の延長を行います。

また、学童クラブとユーフォーの運営の効率化に向けて取り組みます。

◇ 特別支援教育の推進 <教育部> **2,500万円**

LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害を含めたすべての障害、学習や集団生活の適応等に課題のある児童・生徒に対し、スクールサポーターの配置や専門家チームの巡回相談等により個に応じた教育支援を行います。

◇ 小・中学校施設の整備 <教育部> ※拡充 **15億4,800万円**

児童・生徒数の増加による不足教室対策として、小・中学校校舎の増築工事を実施するとともに、既存教室や給食施設の改修を行います。

また、非構造部材等の耐震化や学校施設の老朽化対応などの安全対策を実施するほか、水飲栓の直結給水化や校庭の一部を芝生化するなど、児童・生徒の快適な学習環境の確保に取り組みます。

- ◇不足教室対策（平成25年度）
- ・校舎増築 上ノ原小，調和小，第五中
 - ・教室改修 深大寺小，北ノ台小
 - ・給食室改修 布田小
- ◇学習環境の整備（平成25年度）
- ・直結給水化 若葉小，緑ヶ丘小
 - ・校庭の芝生化 国領小（一部）

③ 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

～プロジェクトの狙い～

- 京王線の地下化に連動した、21世紀の調布のまちの骨格づくりを進め、様々な都市機能の集積やにぎわいとうるおいのある都市空間の創出により、魅力的な市街地を形成します。
- まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりを進めるとともに、映画やスポーツなどの地域資源を生かし、まちの活性化を図ります。

◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

【平成25年度の主な取組】

◇ 駅前広場の整備 <都市整備部> ※拡充

5億1,500万円

京王線連続立体交差事業により鉄道が地下化された調布・布田・国領3駅の駅前広場を南北一体的に整備し、交通結節点としての機能を向上させるとともに、うるおいとにぎわいのある駅前広場の整備を進めます。

平成25年度は、調布駅前広場の事業化に取り組むとともに、布田・国領の駅前広場の用地取得を行います。



◇ 鉄道敷地の整備 <都市整備部>

1,200万円

中心市街地3駅の駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地上部の連続した空間を、にぎわい、うるおい、やすらぎのある都市空間として活用するため、関係機関との協議を継続するとともに、測量などの必要な調査を行います。

◇ 都市計画道路の整備 <都市整備部>

19億6,300万円

京王線の地下化に連動した中心市街地における都市基盤整備では、調布3・4・28号線（蓮慶寺の通り）の用地取得を進めるとともに、調布3・4・26号線（三鷹通り）の測量・設計を行います。

また、その他の都市計画道路の整備では、円滑な交通ネットワークの構築のため、調布3・4・32号線（西調布駅北口）の用地取得を進めるとともに、調布3・4・33号線（飛田給駅南口）の設計を行い、調布市内の都市計画道路の整備を推進します。

◇ 調布駅北第1地区市街地再開発事業の促進 <都市整備部>

8億7,800万円

商業・業務、都市型住宅を供給し、都市計画道路等の公共施設の整備により、駅前拠点にふさわしい土地の高度利用を図り、にぎわいと活力のある地域の拠点を形成します。

平成25年度は、第1A地区の既存建築物の除却を行い、施設建築物の工事に着手するとともに、第1B地区については、施設建築物の設計を行います。

◇ 調布駅南口東地区市街地再開発事業の促進 <都市整備部>

9億1,700万円

魅力ある商業・業務・住宅施設や自転車駐車場等の整備により、商業・業務地区にふさわしい土地の高度利用を図り、にぎわいと活気ある市街地を形成します。

平成25年度は、施設建築物の除却を行うとともに、施設建築物の工事に着手します。

◇ 布田駅南土地区画整理事業の推進 <都市整備部>

1億1,900万円

布田駅南地区における土地区画整理事業を推進し、駅前広場をはじめ、道路、公遊園など、都市基盤の整った安全で魅力的な中心市街地の形成を進めます。平成25年度は、引き続き道路の築造工事を実施します。

◇ **自転車等駐車場の整備・有料化** <都市整備部> **5,700万円**

調布市自転車等対策実施計画に基づき、駐車施設の整備・有料化を図りながら、需要に応じた収用台数の確保を進めます。

◇平成25年度新規開設：調布駅北第2自転車等駐車場（駐車場整備センター運営）

◇平成25年度収容台数の拡大：柴崎駅東自転車駐車場

◆ **まちの活力を高める**

【平成25年度の主な取組】

◇ **商店街活性化の推進** <生活文化スポーツ部> **5,100万円**

市内全域の商業活性化に向け、商店街のイベント事業の支援や商店街の魅力向上の取組を支援するとともに、地域資源を生かした商業活性化策を検討します。また、商店街の買物環境の整備を支援するため、LED街路灯などの施設整備費の一部を助成します。

◇ **民間/ノウハウを活用した中小企業等の支援** <生活文化スポーツ部> **300万円**

中小企業の振興及び地域経済の活性化を図ることを目的に、市内の地域密着型の金融機関と連携し、きめ細かな中小企業等支援策に取り組みます。後継者不足などの課題解決に向けたセミナーや後継者塾の開催、個別訪問のほか、アドバイザー派遣などの創業支援等、金融機関が有する民間ノウハウを活用し、市内中小企業等を支援します。

◇ **「映画のまち調布」の推進** <生活文化スポーツ部> **700万円**

子どもたちの世界映画祭「キンダー・フィルム・フェスティバル」や「高校生フィルムコンテスト」を引き続き開催するほか、中学生を対象とした「ジュニア映画塾」を支援します。また、市内でのロケ支援や、映画・映像資源を活用した観光・産業振興を図るなど、調布市観光協会と連携して「映画のまち調布」を推進します。



◇ **スポーツ祭東京2013の開催** <生活文化スポーツ部> ※拡充 **2億7,000万円**

平成25年9月28日から味の素スタジアムをメイン会場にスポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）が開催されます。調布市では、国体の陸上競技やサッカー、デモンストレーションとしてのスポーツ行事のドッジビーのほか、障害者スポーツ大会の陸上競技とボウリングを開催します。

また、開催に当たり競技別リハーサル大会など関連するスポーツ事業のほか、調布市の地域資源を活用した観光イベント等を実施し、市民スポーツの振興と調布の魅力の全国への発信に取り組みます。

スポーツ祭東京2013



マスコットキャラクター
ゆりーと

◇スポーツ祭東京2013 調布市開催競技等

大会名	種目等	日程	会場
第68回国民体育大会	開・閉会式	9月28日・10月8日	味の素スタジアム
	サッカー	10月2日・3日	
	陸上競技	10月4日～8日	
第13回全国障害者スポーツ大会	開・閉会式	10月12日・14日	調布スポーツセンター
	陸上競技	10月12日～14日	
	ボウリング	10月12日・13日	
デモンストレーションとしてのスポーツ行事	ドッジビー	9月23日	調布市総合体育館

※競技別リハーサル大会の開催：第97回日本陸上競技選手権大会（平成25年6月開催予定）

(4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

～プロジェクトの狙い～

- 調布の大切な財産である緑と水辺環境を守り育て、将来世代に継承していきます。
- 地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を踏まえた景観まちづくりを進めます。

◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

【平成25年度の主な取組】

◇ 公園・緑地等の保全・整備 <環境部> ※拡充 **2,700万円**

市民や団体の保全活動への支援や人材の育成などにより協働による公園・緑地、崖線樹林地の維持保全を進めるとともに、市民が安全で安心して公遊園を利用できるよう公園施設長寿命化計画に基づき計画的な維持保全を行います。

また、市内で初となる特別緑地保全地区を2箇所（緑ヶ丘みんなの森、仙川崖線）指定するとともに、緑ヶ丘みんなの森の公有化を進めます。

◇緑ヶ丘みんなの森の公有化：約330㎡（用地会計債務負担行為 1億円）

◇ 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用 <環境部> ※拡充 **600万円**

策定を予定している深大寺・佐須地域環境資源保全活用基本計画に基づき、貴重な自然環境を一体的に保全・活用するための具体的な事業の実施に向け順次個別計画を策定していきます。

平成25年度は、主に、深大寺・佐須地域の農地等の保全活用に係る事業化の検討を進めます。



◆ 良好な景観を創出する

【平成25年度の主な取組】

◇ 景観計画の策定、景観条例の制定・運用 <都市整備部> **600万円**

地域の特性を生かした魅力ある景観まちづくりに向け、景観法に基づき、景観行政団体への移行を図るとともに、景観計画の策定及び景観条例の制定・運用に取り組みます。

◇ 深大寺地区におけるまちづくりの推進 <都市整備部> ※拡充 **700万円**

深大寺地区の風情ある街なみ景観の維持、保全を図るとともに、地域資源の活用によるにぎわいの創出や地区の回遊性を高めるため、深大寺通り街づくり協議会と連携し、街なみ環境整備事業の実施により深大寺地区にふさわしいまちづくりを推進します。

◇街なみ環境整備事業（平成25年度）

- 遊歩道・散策路（市道北137-1号線）の測量・設計
- 公共サイン整備
- 街なみ整備助成



2 「市政経営の2つの基本的な考え方」

「参加と協働のまちづくり」、「持続可能な市政経営」という市政経営の2つの基本的な考え方を踏まえ、限りある経営資源を最大限に活用するとともに、行政運営の仕組みを検証し、簡素化・効率化することで、質の高い市民サービスを将来にわたり持続的に提供することを目指し、「行革プラン2013」に取り組みます。

(1) 参加と協働のまちづくり ～人と人がつながる市民が主役のまち～

◆ 市民参加プログラムに基づく市民参加の推進

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン1 市民参加・協働の仕組みづくり** <担当：政策企画課・協働推進課>

市民参加と協働を更に推進していくため、市民参加プログラム等の適切な運用に努めるとともに、研修等を通じて、職員の市民参加や協働に関する意識の向上を図ります。また、市民参加プログラム等の充実や新たな市民参加・協働手法の研究に取り組みます。

◇ **プラン2 パブリック・コメント手続条例の制定** <担当：政策企画課・都市計画課>

行政運営における公正性を確保するとともに、透明性を向上させ、市民等の参加による開かれた市政の一層の推進を図るため、パブリック・コメント手続条例を制定します。

◇ **プラン3 審議会等の会議の公開に関する条例の制定** <担当：政策企画課>

審議会等の会議を公開することで、透明かつ公正な会議の運営を図り、市民との情報共有を進め、開かれた市政の一層の推進を図るため、審議会等の会議の公開に関する条例の制定に向けた検討に取り組みます。

◆ 参加と協働の推進のための環境整備

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン5 地域福祉センターの在り方検討** <担当：協働推進課・福祉総務課>

地域に根づいたコミュニティ活動の拠点施設として、今後の地域福祉センターの在り方を検討するに当たり、利用者ニーズ等を踏まえて、課題整理に取り組みます。

◆ 市政情報の積極的な提供

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン6 積極的な市政情報の提供** <担当：広報課>

市報、ホームページをはじめとした様々な広報メディアをとおして、広く市民に市政情報等を発信するとともに、より分かりやすい情報発信を行うため、ホームページをリニューアルします。

(2) 持続可能な市政経営 ～質の高い行政サービスの提供～

◆ 効率的で機能的な組織・システムづくり

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン8 組織体制の整備** <担当：行財政改革課>

引き続き、市民に分かりやすく、簡素で効率的な組織体制を整備するとともに、職員定数の抑制に努めていきます。また、新たな行政課題に的確に対応するため、組織横断的な連携を検討します。

◇ **プラン10 システム管理の強化** <担当：情報管理課>

東日本大震災の教訓を受け、業務継続の観点からバックアップ用共通基盤サービスの利用に関する検討を進めます。また、停電時等のシステム対応の見直しに向け、現状把握や課題整理に取り組みます。

◇ **プラン11 危機管理能力の向上（地震対策）** <担当：総合防災安全課>

調布市地域防災計画の内容を反映させるため、調布市事業継続計画（BCP）・地震編を修正します。また、職員の震災対応能力の向上を図るため、BCP・地震編に関する職員研修を行います。

◇ **プラン12 危機管理能力の向上（新型インフルエンザ対策）** <担当：健康推進課>

組織改正や事務移管、配置職員数の変更を反映させるため、調布市事業継続計画（BCP）・新型インフルエンザ編を修正します。また、新型インフルエンザ流行時における職員の対応能力の向上を図るため、BCP・新型インフルエンザ編に関する職員研修を行います。

◇ **プラン13 公共料金の支払方法の見直し** <担当：会計課>

効率化や支払い漏れ防止等の観点から、公共料金支払事務に関する現状や課題を整理し、公共料金の一括支払の導入に向けた検討に取り組みます。

◆ **市民サービスの提供主体の見直し**

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン14 指定管理者制度の活用** <担当：行財政改革課>

指定管理者制度導入施設におけるこれまでの運用実績を踏まえ、適切に指定管理者の更新を行います。また、質の高い市民サービスの提供につなげるため、指定管理者による管理運営状況等に関する評価を実施するとともに、既存施設における指定管理者制度の導入について検討します。

◇ **プラン16 公立保育園の運営主体の見直し** <担当：子ども政策課>

調布市保育総合計画に基づき、ネットワーク保育システム「C-SO（シーソー）」を構築し、「待機児童対策の推進」、「多様な保育サービスの提供」、「保育の質の維持・向上」を実現するため、公立保育園の運営主体の見直しに取り組みます。

◇ **プラン17 学童クラブとユーフターの効率的運営の検討** <担当：児童青少年課・社会教育課>

民間委託した学童クラブの運営方法の検証等を踏まえ、今後の学童クラブ運営方針を検討します。併せて、学童クラブとユーフターの効率的な運営の実施に向けた検討に取り組みます。

◆ **市民に信頼される市政の推進**

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン19 情報セキュリティの強化** <担当：情報管理課>

情報漏えい等を防止する観点から、「調布市情報セキュリティポリシー」の見直しに向け、庁内における外部とのデータ交換方法等の現状把握や課題整理に取り組みます。

◆ 広域的な連携の推進

【平成25年度の主な取組】

◇ フラン21 災害時における他自治体との連携の推進<担当：総合防災安全課>

「広域連携における災害対策」の重要性を踏まえ、災害対応能力の向上を図るため、災害対策に係る相互協力体制の確保として現在締結されている「災害対策協定」について検証します。

◆ 専門性を有する人材の確保と育成

【平成25年度の主な取組】

◇ フラン23 専門性を有する人材の確保と育成<担当：人事課>

多様化・複雑化する市民ニーズに的確に応えられる人材の確保・育成を図るため、特定の職務分野に精通した人材を育成するための「(仮称)人事異動指針」を策定するほか、専門分野の職員採用試験の試行実施等に取り組みます。

◆ 人事・給与制度の見直し

【平成25年度の主な取組】

◇ フラン24 仕事へのやりがいや意欲を高めるための仕組みづくり<担当：人事課>

庁内公募制の拡充検討(係長職以下を対象に本格実施、管理職対象の試行実施)や若手職員を育成するためのチューター制度の導入検討など、人事制度の見直しに取り組みます。

また、引き続き、管理職を対象として、目標管理型勤務評定の結果に基づき勤勉手当成績率を適用するとともに、新たに係長職以下の職員を対象として、勤務成績評定の結果に基づき勤勉手当成績率を適用するなど、給与制度の見直しに取り組みます。

◇ フラン25 各種手当の見直し<担当：人事課>

退職手当支給水準の段階的な引き下げを行うほか、国や東京都、近隣他市の状況を踏まえ、各種手当の適切な見直しに取り組みます。

◆ 研修の充実

【平成25年度の主な取組】

◇ フラン26 人材育成基本方針に基づく研修の充実<担当：人事課>

「第2期調布市人材育成基本方針」に基づき、各種研修を実施するとともに、「(仮称)コンプライアンス・ガイドブック」を作成し、法令遵守の意識啓発を継続的に実施します。

◆ 職員の勤務環境の向上

【平成25年度の主な取組】

◇ フラン27 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の推進<担当：人事課>

「調布市特定事業主行動計画 第四次行動計画」に基づき、職員自らの働き方の改革を進めるための意識啓発や、仕事と家庭生活の調和が図れる職場環境づくりを推進します。

◆ 計画の推進

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン28 公共施設再配置の検討** <担当：行財政改革課・政策企画課>

既存の公共施設の現状を踏まえて、今後の公共施設の在り方を検討していくため、各公共施設における利用状況や維持管理の状況等についての現状把握に取り組みます。

◆ PDCAマネジメントサイクルによる行財政運営

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン31 行政評価システムに基づく行財政運営の推進** <担当：行財政改革課>

持続可能な市政経営を推進するため、前年度の取組を振り返り、評価結果に基づく見直し、改革・改善につなげる行政評価を財務会計システムと連動させ、行政評価の実効性の向上と効率化を図ります。

◇ **プラン32 (仮称) 行財政改革推進委員会の運営** <担当：行財政改革課>

行財政改革の取組について、第三者的な視点から検証等を行う仕組みを構築し、質の高い市民サービスの提供につなげるため、「(仮称) 行財政改革推進委員会」の設置に向けた検討に取り組みます。

◆ 健全な財政運営

【平成25年度の主な取組】

◇ **プラン33 財政規律ガイドラインに基づく財政運営** <担当：財政課>

「調布市財政の健全性維持のためのガイドライン（財政規律ガイドライン）」の設定項目に基づく進行管理を実施するとともに、財政規律ガイドライン策定以後の経済状況の変化等を踏まえ、設定項目を見直します。

◇ **プラン35 債権管理に係るルールづくり** <担当：財政課>

債権管理に係るルールづくりに向け、庁内における債権管理に関する現状を把握するとともに、課題整理に取り組みます。

◇ **プラン36 補助金と受益者負担の適正化** <担当：財政課・行財政改革課>

補助金等の交付状況を公表するとともに、今後の補助金等の見直しに向けた検討に取り組みます。また、使用料・手数料の見直しや新設の検討など、受益者負担の適正化に取り組みます。

◇ **プラン38 市税徴収率の維持・向上** <担当：納税課>

引き続き、きめ細かな納税相談や市税徴収3up 作戦を実践していきます。徴収率向上に向けては、納付推進員や自動電話催告システム、ペイジー口座受付サービスを活用するほか、口座振替の拡充に向けた新たな取組を実施します。また、滞納事案への早期対応や大口事案の適切な管理等により、滞納額の圧縮に取り組みます。

遠隔地滞納者実地調査や研修による徴収実務のスキルアップにも、引き続き、取り組みます。

◇ **プラン39 国民健康保険税徴収率の維持・向上** <担当：保険年金課>

引き続き、きめ細かな納税相談や市税徴収3up 作戦を実践していきます。徴収率向上に向けては、納付推進員や自動電話催告システムを活用するほか、ペイジー口座受付サービスを実施します。また、滞納事案への早期対応や大口事案の適切な管理等により、滞納額の圧縮に取り組みます。

3 平成25年度予算(案)のその他の主な新規・拡充事業

★は新規事業 ☆は拡充事業

- ★調布消防署国領出張所庁舎建替えに伴う用地買収
- ☆文化会館たづくり・グリーンホールの維持・補修（設備改修工事等）の実施
- ★子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の実施
- ★地域福祉コーディネーター事業の推進（モデル地区2か所）
- ★調布市民福祉ニーズ調査の実施
- ★ちょうふの里空調改修工事の実施
- ☆生活保護世帯自立支援事業の充実（金銭管理支援，次世代育成支援）
- ★地域若者サポートステーションの誘致・開設
- ★前立腺がん検診（PSA検査）の開始
- ★特定不妊治療費助成事業の開始
- ★国保ヘルスアップ事業の実施準備（国民健康保険事業特別会計）
- ☆人と環境にやさしい道路整備工事（市道南21号線，主要市道9号線）

4 市民生活支援等の継続的取組

平成20年度から継続的に取り組んでいる市民生活支援等について，引き続き取り組みます。

○ 市民の負担軽減策

◇ 中小企業事業資金融資制度の事業者負担軽減

平成20年度から時限措置として実施している市内中小企業事業者の運転資金等融資の負担軽減について，
現下の経済状況を踏まえ，更に1年継続して実施します。

◇中小企業事業資金融資 信用保証料の公費負担の継続

◇ 認証保育所等保育料の保護者負担軽減

認証保育所，家庭福祉員等を利用する保護者の負担軽減を図ります。

◇認証保育所等保育料の保護者負担の軽減

◇ 小・中学校給食費の保護者負担軽減

引き続き小・中学校給食費の保護者の負担軽減を図ります。

◇小・中学校給食費の保護者負担の軽減の継続

◇ 予防接種費用の負担軽減

子宮頸がんワクチンやH i bワクチン，肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成し，市民負担の軽減を図ります。

◇予防接種費用の負担軽減（子宮頸がんワクチン・H i bワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・高齢者用肺炎球菌ワクチン）

◇ 国民健康保険事業における負担軽減（国民健康保険事業特別会計）

ジェネリック医薬品の利用促進に関する通知サービスにより，被保険者の窓口負担軽減を図ります。

○ きめ細かな相談対応

社会福祉協議会に常設で設置した低所得者や離職者への相談窓口や，チャレンジ支援貸付事業の受付業務のほか，若者向け労働相談，消費生活相談を継続実施します。また，生活保護受給世帯の増加への対応として職員体制の充実を図ります。

○雇用機会の確保

- ◆一部継続されることとなった国の緊急雇用補助制度を活用し、直接又は間接的な市民雇用機会を創出します。

	事務事業名等	所管部	雇用創出 予定人数
1	市税納付に関する電話催告業務	市民部	1人
2	調布市観光PR事業（観光案内所運営）	生活文化スポーツ部	6人
3	図書館資料デジタル化事業	教育部	3人
4	郷土博物館埋蔵文化財再整理調査事業		7人
5	郷土博物館埋蔵文化財写真資料等デジタル化事業		2人
	合計		19人

事業費総計 3,300万円

- ◆既存・拡充・新規の各種業務委託等での市民雇用の機会の確保
- ◆事務補助員等直接雇用における市民採用

○市内事業者の受注機会の確保

- ◆公共建築物の維持・保全における委託や工事発注の前倒しによる市内事業者の受注機会の創出と、前払金制度の拡充による受注者支援を引き続き行います。
※平成24年度補正予算での前倒し対応など市内事業者の受注機会確保と地域経済の活性化につなげます。
- ◆市が発注する工事の制限付一般競争入札実施基準の時限措置の継続

5 計画的な公共建築物の改修・維持保全等

調布市は、「本庁舎」・「文化会館たづくり」などの大規模な建築物から、「図書館分館」・「ふれあいの家」のような小規模な建築物まで、300を超える公共建築物を保有しています。

これらの公共建築物は、市が著しく発展し人口が急増した昭和40～50年代（1965～1975年頃）に建設した施設が多く、経年劣化が進んでいます。

公共建築物の維持保全上の現状と課題を踏まえ、今後の維持保全の基本的な考え方や整備の方針、維持保全の優先順位などを明らかにする「公共建築物維持保全計画」を、平成22年3月に策定しました。本計画を新たな基本計画の策定と連動しながら時点修正し、今後も計画的な維持保全を進めることとしています。

また、維持保全と合わせて、児童・生徒数の増加等への対応（校舎の増改築）、や環境配慮等の取組など、ニーズに応じた機能向上のために必要な対策を講じていきます。

平成25年度における公共建築物の改修・整備については、児童・生徒数の増加に対応した小・中学校の校舎増築や、公共建築物維持保全計画に基づき、文化会館たづくり・グリーンホール、ちょうふの里などの施設改修を行います。

◇ 改修等の概要

単位：千円

維持保全等工事内容	取組予定					
	平成24年度前倒し実施		平成25年度実施		合計	
	建築物数	事業費	建築物数	事業費	建築物数	事業費
増築・改良工事等	1	5,040	14	1,222,234	15	1,227,274
老朽化に伴う工事等	4	31,371	34	1,210,401	38	1,241,772
合計	5	36,411	48	2,432,635	53	2,469,046

※建築物数欄には、「校舎緑化」、「学校空調リース」、「小口修繕」等を除いた建築物数を記載しています。

◆増築・改良工事等

(単位：千円)

建築物の名称	事業内容	合計		
		平成24年度 前倒し実施	平成25年度 実施	
市役所庁舎	設計（耐震補強基本設計）		10,142	10,142
総合体育館	改修（駐車場）		16,397	16,397
調布基地跡地運動広場	工事（防球ネット設置）		44,300	44,300
金子保育園	改修（門扉・フェンス・避難路柵）	5,040		5,040
染地児童館学童クラブ染地小学校分室	設計（新設）		2,407	2,407
国領児童館	改修（直結給水化）		420	420
深大寺小学校	改修（既存校舎）		42,179	42,179
上ノ原小学校	増築（校舎増築）		332,687	332,687
若葉小学校	改修（直結給水化）		15,000	15,000
緑ヶ丘小学校	改修（直結給水化）		16,000	16,000
北ノ台小学校	改修（既存校舎）		48,999	48,999
国領小学校	設計・工事（校庭芝生化）		27,000	27,000
布田小学校	改修（給食施設）		115,497	115,497
調和小学校	増築（校舎増築）		305,351	305,351
小学校（実施校未定）	校舎緑化		1,355	1,355
第五中学校	増築（校舎増築），設計（直結給水化）		243,849	243,849
中学校（実施校未定）	校舎緑化		651	651
		5,040	1,222,234	1,227,274

◆老朽化に伴う工事等

(単位：千円)

建築物の名称	取組内容	合計		
		平成24年度 前倒し実施	平成25年度 実施	
市役所庁舎	改修（トイレ・自動制御設備）		63,645	63,645
文化会館たづくり	設計（ホール棟・東館エアコン更新等），改修（防災設備CRT，西館エアコン更新等）		72,779	72,779
グリーンホール	設計（舞台機構設備，大ホール負荷設備等），改修（舞台機構設備，大ホール負荷設備等）		146,441	146,441
金子地域福祉センター	改修（屋上防水，給排水配管等）		31,501	31,501
入間地域福祉センター	改修（空調設備）	7,508		7,508
国領ふれあいの家	改修（空調設備）	1,953		1,953

(単位：千円)

建築物の名称	取組内容	合計		
		平成24年度 前倒し実施	平成25年度 実施	
総合体育館	改修（放送設備）		14,643	14,643
市民プール	改修（弱電設備）※前倒し実施 改修（更衣室床）	5,194	2,100	7,294
西調布体育館	改修（電気温水器）		1,124	1,124
多摩川テニスコート	改修（人工芝, 防砂ネット）		30,314	30,314
上布田保育園	改修（空調設備）	16,716		16,716
東部保育園・公民館・児童館	設計（電気・防災設備）		4,720	4,720
第五保育園	改修（調理室）		3,087	3,087
宮の下保育園	改修（空調設備, 園舎床）		15,593	15,593
保育園	室内環境測定		1,137	1,137
子ども家庭支援センター	改修（プレイルーム空調設備）		3,749	3,749
多摩川児童館	改修（空調設備）		12,915	12,915
総合福祉センター	改修（エレベーター）		22,355	22,355
ちょうふの里	改修（空調・換気・排煙・自動制御 設備）		125,403	125,403
希望の家	改修（大規模）		152,031	152,031
第三小学校	設計（受変電設備, 給食室）		7,029	7,029
八雲台小学校	改修（防球フェンス移設）		25,415	25,415
富士見台小学校	設計（外壁・屋上防水）, 改修 （プール水槽）		9,837	9,837
染地小学校	改修（給食昇降機）		6,361	6,361
多摩川小学校	改修（職員室）		4,400	4,400
布田小学校	改修（受水槽, 給水管）		30,602	30,602
小学校	空調リース, 室内環境測定		94,638	94,638
第三中学校	設計（外壁）		2,171	2,171
第六中学校	設計・改修（外壁）		69,701	69,701
第七中学校	改修（体育館天井）		4,610	4,610
第八中学校	改修（プールろ過機）		9,513	9,513
中学校	空調リース, 室内環境測定		39,197	39,197
八ヶ岳少年自然の家	改修（受変電設備, 非常用発電機）		36,802	36,802
西部公民館	改修（敷地内舗装路）		987	987
実篤記念館	改修（UGS設置）		1,727	1,727
消防団第10分団機械器具置場	改修（外壁）		2,778	2,778
小口修繕			161,096	161,096
		31,371	1,210,401	1,241,772

Ⅲ 予算(案)の概要

1 市政経営を取り巻く状況

先行き不透明な経済状況などに伴い、地方自治体を取り巻く環境がより厳しさを増していく中、平成24年度の地方交付税の算定において、全国1,719の市町村では、平成23年度に引き続き不交付団体が減少しました（H22 74団体⇒H23 58団体⇒H24 54団体）。また、都内39市町村の不交付団体は、前年度同様の6団体（調布市のほか、立川市・武蔵野市・三鷹市・府中市・多摩市）となりました。

調布市は、昭和58(1983)年度以降、30年連続して普通交付税の不交付団体であり、減収影響等が普通交付税で財源補完されないことから、財源確保と経費縮減の歳入歳出両面からの自主・自立的な経営努力によって対処しています。

また、これまで抑制を基本として活用を図ってきた臨時財政対策債は、国（総務省）により発行可能額の算定方法が見直され、調布市を含む不交付団体は、平成25年度から発行ができなくなりました。

現下の経済状況を背景に、厳しい財政状況が想定されますが、限られた経営資源の最大限の活用と創意工夫による、財源確保と経費縮減の両面からの不断の見直し・改革・改善の実践に取り組み、市民生活支援等の継続的取組のほか、新たな基本計画の初年度としての4つの視点による重点プロジェクト事業の着実な推進を図って参ります。

◇平成25年度予算のポイント

(1) 平成25年度地方財政の姿（地方財政計画・東京都予算）

○地方財政計画（総務省自治財政局）

- ・地方財政計画の規模 81兆9100億円（前年比較500億円程度増・0.1%程度増）
- ・地方税・地方譲与税 36兆3645億円（前年比較4461億円増・1.2%増）
※地方税 34兆175億円（前年比較3606億円増・1.1%増）

○東京都予算のポイント

- ・都税収入は3.9%増
- ・東京の輝きを高め、安全・安心確立の取組を推進し、一般歳出（政策的経費）を1.6%増
- ・予算の規模 6兆2640億円（前年比較1150億円増・1.9%増）
- ・うち都税収入 4兆2804億円（前年比較1609億円増・3.9%増）

(2) 平成25年度調布市予算の主なポイント

○市政経営を支える財源

市税収入 423億円余（前年度比較8000万円余増・0.2%増）

○重点プロジェクト事業の推進

新基本計画に位置付けた4つの視点による重点プロジェクト事業の推進

○市民生活支援等の継続的取組

市民の負担軽減策、きめ細かな相談対応、雇用機会の確保、市内事業者の受注機会の確保

○大幅な財源不足に対処する見直し・改革・改善

既存事業の優先度や内容等を厳しく精査、あらゆる角度からの財源確保への取組



2 平成25年度市政の経営方針を踏まえた予算編成過程

10月12日付け市長通達『平成25年度における市政の経営方針について』に基づく予算編成方針を策定し、厳しい財政状況を全職員が共通認識し、限られた財源の中で、最少の経費で最大の効果をあげる予算編成に取り組みました。

平成25年度は、歳出では、新ごみ処理施設稼働に伴い、可燃ごみの広域処理費用の減要因が見込めるものの、社会保障関係経費等の増要因のほか、歳入においては臨時財政対策債の借入ができなくなることから、財源不足が見込まれたため、一件ごときめ細かなチェックと創意工夫を重ね、財源確保とコスト縮減の両面からの不断の見直し・改革・改善に取り組む、総合調整を実施してきました。

各部調整後の11月8日時点の予算見積りは、市税収入の減収要因や追加財政需要などにより、40億円余（別途集計の新規拡充事業を含めると75億円余）の財源不足（歳出超過）でしたが、その後各部との個別ヒアリング、全庁的な調整、市長査定を通して、収支均衡に向けた総合調整を行いました。

(1) 予算編成の基本姿勢（平成24年10月12日付け行政経営部長通知）

☑新たな基本計画・行革プラン、財政フレームの策定と併行した複数年次を見据えた予算編成への取組

☑厳しい財政状況の中にあっても、市政の第一の責務としての市民の安全・安心の確保と市民生活支援への取組

☑大幅な財源不足に対処するため、「選択と集中」の視点から、既存事業の優先度や内容、規模、効果を厳しく精査するとともに、あらゆる角度からの財源確保への取組

☑平成23年度決算振返り・平成24年度執行状況の勘案
☑事務事業評価結果の時点修正による検証・見直し
☑監査委員指摘事項の改善

☑既存事業の優先度や内容を厳しく精査
☑新規・拡充事業の事前評価結果を踏まえた厳選

☑大震災を踏まえた市民の安全・安心の確保と市民生活支援
☑新たな補助金等の財源確保
☑複数年次での基金の利活用



平成 24 年度当初予算

歳入の根幹をなす市税収入において、平成 23 年度当初予算額との比較で 2 億 4000 万円余の減収を見込みました。各種交付金でも税制改正と連動する 6000 万円余の減収影響を見込み、一般財源総額では 3 億 1000 万円余の減を見込みました。

平成 24 年度当初予算（歳入）

◇年度間調整財源の活用

財政調整基金繰入金 11 億円

⇒ 前年度繰越金を活用し 4 億円余を基金に積み戻し

◇臨時的な財源対策

臨時財政対策債 6 億円

平成 24 年度補正予算（歳出）

◇市民生活支援等の重点的取組◇

平成 24 年度も引き続き、年末商戦に向けた商業活性化の補正予算を計上する等の対応を図りました。

平成 25 年度予算

予算編成過程（11 月初旬時点）での市税見込みでは、3 億円余の減収影響を想定していましたが、数度の時点修正を図り、前年度当初予算額との比較では、個人及び法人市民税の減要因はあるものの、固定資産税及び市たばこ税等の増要因により、市税総体では 8000 万円余の増収を見込んでいます。各種交付金では地方消費税交付金の減等で 7000 万円余の減収が見込まれるものの、一般財源総額では 1000 万円余の増を見込んでいます。

歳出においては、新ごみ処理施設の本稼動に伴う可燃ごみの広域処理経費の減による衛生費の減はあるものの、引き続き、扶助費等の社会保障関係経費の増に伴う民生費の増を見込んでいます。

平成 25 年度予算における年度間調整財源の活用と臨時的な財源対策

財政調整基金繰入金 9.8 億円（平成 25 年度末残高見込み 27 億円余）

臨時財政対策債 0 円

合計 9.8 億円

◇臨時財政対策債◇

発行可能額の算定方法が見直され、不交付団体は平成 23 年度以降、借入額が毎年半減され、平成 25 年度以降は借入れができなくなりました。

（参考）

平成 22 年度発行可能額 25 億余

平成 23 年度発行可能額 12 億余

平成 24 年度発行可能額 6 億余

平成 25 年度発行可能額 0

平成 26 年度以降

現時点では、先行き不透明な経済状況により、市税等の主要な一般財源の大幅な増収が見込めない状況にあります。限られた経営資源の最大限の活用と創意工夫による、財源確保と経費縮減の両面からの不断の見直し・改革・改善の実践に取り組み、市政の第一の責務として市民の安全・安心を守り、市民生活を支援するとともに、中長期的な展望のもと財政規律の維持を図りながら、新たな計画に基づくまちづくりを着実に進めて参ります。

3 財政フレーム

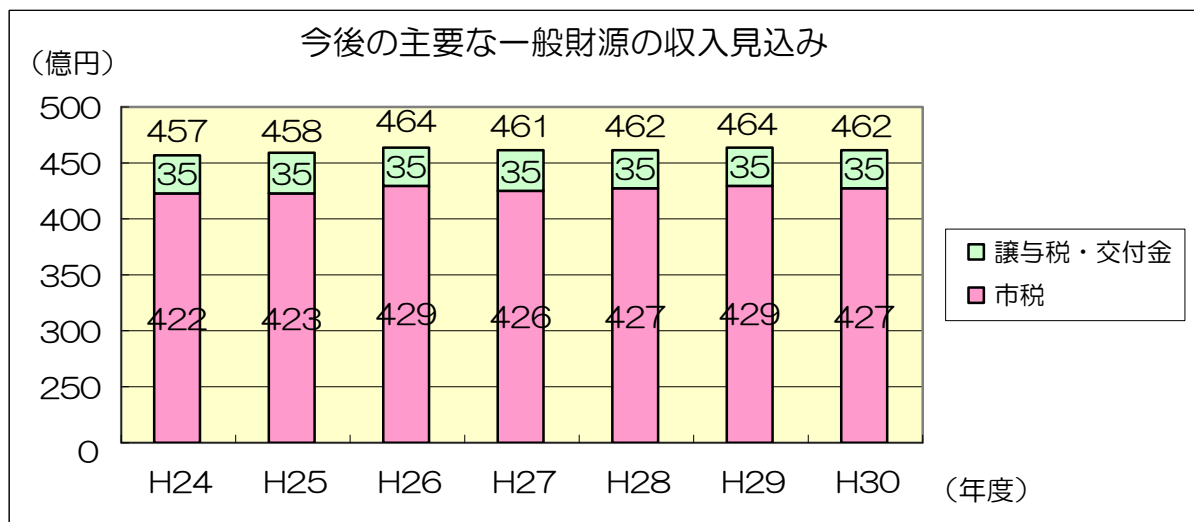
(1) 調布市財政の今後の見通し

基本計画期間（平成25年度～平成30年度）においては、歳入では市税や各種交付金の大幅な伸びは期待できないと見込まれます。また、これまでの間、財源対策として活用してきた臨時財政対策債について、普通交付税の不交付団体である調布市は、平成25年度以降借入ができなくなります。

一方の歳出では、安全・安心のまちづくりや市民生活支援への取組をはじめ、増加する社会保障関係経費への対応、公共建築物の維持保全経費、京王線地下化切替後の駅前広場や鉄道敷地の整備など様々な財政需要が想定され、歳出が増加していくものと見込まれます。

このため、事業の優先度や内容、規模、効果をこれまで以上に厳しく精査し、不断の見直し・改革・改善の取組により対処していきます。

今後も引き続き、調布市独自に策定した「調布市財政の健全性維持のためのガイドライン（財政規律ガイドライン）」における「財政構造見直し」「財政基盤強化」「連結ベース債務残高縮減」の3つの視点に基づき、財政の健全性の維持・向上に取り組んでいく必要があります。



◆今後の主要な一般財源の収入見込みの前提条件

<市税収入>

現時点で判明している税制改正などによる影響を概算で見込んでいます。

- 個人市民税：平成25年度は個人所得の減少に伴う減を見込んでいますが、その後は税制改正による増要因により、ほぼ横ばいで推移すると見込んでいます。
- 法人市民税：計画期間中の税制改正による減を見込んでいます。
- 固定資産税：土地は税制改正による増を見込んでいます。家屋は新築による増とともに、平成27年度、30年度は、評価替えに伴う前年度からの減を見込んでいます。
- 市たばこ税：平成25年度は税制改正による増を見込んでいますが、その後は、売上本数の減少に伴う減を見込んでいます。

<地方譲与税、各種交付金>

地方譲与税や各種交付金（地方消費税交付金、利子割交付金、自動車取得税交付金など）については、景気や制度改正等に連動することから、現時点では、計画期間中ほぼ横ばいで推移するものと想定しています。なお、消費税の改正に伴う変動要因は現時点でその実施が確定していないため見込んでいません。

(2) 平成25年度～平成30年度の財政フレーム（一般会計）

基本計画期間（平成25年度～平成30年度）の財政フレームについては、諸計画との整合を図る中で、現行の制度を前提に歳入歳出の推計を行い、作成しています（歳出は性質別区分に基づき推計しています。）。

（単位：億円）

区 分		25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	6か年 合計
歳入	市 税	423	429	426	427	429	427	2,561
	譲与税・交付金	35	35	35	35	35	35	210
	国・都支出金	211	219	209	205	204	217	1,265
	市 債	30	38	33	41	39	30	211
	そ の 他	72	76	69	68	68	70	423
	計 a	771	797	772	776	775	779	4,670
歳出	人 件 費	121	124	119	118	119	121	722
	扶 助 費	179	183	186	190	193	197	1,128
	公 債 費	44	44	38	38	38	38	240
	投資的経費	87	106	86	83	76	71	509
	そ の 他	340	340	343	347	349	352	2,071
	計 b	771	797	772	776	775	779	4,670
差 引 c=a-b		0	0	0	0	0	0	0

※消費税の改正に伴う変動要因は、現時点でその実施が確定していないため見込んでいません。

※計数は、各欄で表示単位未満を四捨五入しています。

※行革プラン2013における財政効果を加味しています。

◆財政フレームの考え方

<歳入>

- 市税、譲与税・交付金：前頁記載の「今後の主要な一般財源の収入見込みの前提条件」に基づき推計
- 国・都支出金：現行補助制度の対象事業を前提に、年度の増減を反映して推計
- 市債：対象事業を想定する中で、複数年次の市債バランスを見据えて推計（6か年合計で211億円を想定）
- その他：分担金負担金・使用料手数料・財産収入・寄附金・繰入金・繰越金・諸収入を推計
基金繰入金は、基盤整備など目的に応じた活用のほか、年度間調整財源としての基金活用を見据えて推計

<歳出>

- 人件費：各年度の退職手当の増減などを踏まえて推計
- 扶助費：社会保障関係経費等の今後の伸びを想定して推計
- 公債費：元金償還及び利子償還の推計（6か年合計で元金償還207億円・利子償還33億円を想定）
- 投資的経費：基本計画に連動する事業費のほか、公共建築物の維持保全経費等を含めた推計
公共建築物の新增築・維持保全経費は、6か年合計で130億円を想定
- その他：物件費・維持補修費・補助費等・積立金・投資及び出資金・貸付金・繰出金を推計

4 予算規模

1 平成25年度における市政の経営方針に基づき、現下の経済状況を踏まえた市民生活支援等の継続的取組のほか、4つの視点による重点プロジェクト事業をはじめ、基本計画の着実な推進を図るため、中・長期的な市政経営の視点から予算を編成しています。

平成25年度一般会計予算の総額は、771億1000万円で、前年度と比較して

9億8000万円の増となっています。

2 各特別会計については、一般会計同様、収入の確保や経費の抑制に努め、効果・効率的な予算を目指しています。

3 一般会計に特別会計を合計した調布市の全会計の予算規模は、1183億8000万円余、前年度と比べ13億6000万円余、1.2%の増と見込んでいます。

(1) 一般会計及び各特別会計当初予算の推移 (単位：百万円, %)

会 計	25年度	24年度	増減額	増減率
一 般 会 計	77,110	76,130	980	1.3
特 別 会 計	41,271	40,882	389	1.0
国民健康保険事業	21,308	21,023	285	1.4
用 地	179	933	▲ 755	▲ 80.9
下 水 道 事 業	3,539	3,554	▲ 15	▲ 0.4
介 護 保 険 事 業	11,879	11,139	740	6.6
後 期 高 齢 者 医 療	4,366	4,232	134	3.2
合 計	118,381	117,012	1,369	1.2

(2) 一般会計及び各特別会計当初予算の推移 (単位：百万円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
一般会計	72,410	74,140	73,930	76,630	77,150	76,130	77,110
特別会計	51,787	44,254	40,044	37,854	38,741	40,882	41,271
国民健康保険事業	19,866	19,537	20,137	19,097	20,211	21,023	21,308
老人保健	13,654	1,739	28	10	—	—	—
用地	1,855	1,852	1,554	1,295	816	933	179
下水道事業	4,609	4,892	4,015	4,042	3,569	3,554	3,539
介護保険事業	9,124	9,330	9,372	9,687	10,317	11,139	11,879
受託水道事業	2,679	3,689	1,690	—	—	—	—
後期高齢者医療	—	3,215	3,248	3,723	3,828	4,232	4,366

